

# 汐風を食べてみませんか。

山の恵みが汐風とともに、海の恵みとなってやってきました

## イベントシーズン到来!

### 第16回南三陸 潮騒まつり

南三陸町と石巻市北上町の物産テントが立ち並び、カキやホタテ、ホヤなど地元で生産される新鮮な魚介類はもちろん、焼きたてのシーフードや農産品なども直売されます。野外ステージでは、郷土芸能やコンサート、ゲーム大会などのお楽しみ企画もあり、とくに、5日のこどもの日には、ちびっ子を対象にした催しが盛りだくさんです! ご家族お揃いでお出掛けください。



- ◇開催日 5月3日(日)、4日(月)、5日(火)
- ◇時間 午前10時～午後4時  
※最終日のみ午後3時
- ◇場所 神割崎キャンプ場イベント広場

### 第1回 伊里前しろうおまつり

歌津地区の春の風物詩と言えば、やっぱり「しろうお漁」。川に石を積み上げ、潮の満ち引きを利用して漁をする漁法は全国的にも珍しく、毎年多くのメディアに取り上げられています。そしてなんと今年は、伊里前商店街と地域の皆さんのアイデアで、記念すべき第1回「しろうおまつり」が開催されます!当日は商店街で様々なしろうお料理が味わえるほか、しろうおの踊り食いや、しろうおすくいなど、楽しい催しが目白押しです!

つつじを鑑賞した後は、伊里前商店街でしろうおの味わい時間も過ごしてみませんか?

- ◇開催日 5月17日(日)
- ◇時間 午前10時～午後3時
- ◇場所 伊里前商店街

海の輝きと山々の新緑が清々しい季節になりました。南三陸町でもいよいよイベントシーズン突入です! 今月は5月の連休からスタートする各種イベントをご紹介します。ぜひ皆さんでお出掛けください!

### ゴールデンウィーク 魚竜館うに丼フェア



毎年行列が出来るほど大人気の食彩イベント。お店ではなかなか味わえない価格と鮮度が自慢のうに丼は1食1,000円で各日800食

限定! その他にもホヤのつかみ取り(1回300円)や特産品の直売など、楽しさ満載のおまつりです!

- ◇開催日 5月3日(日)、4日(月)、5日(火)
- ◇時間 午前10時～午後3時
- ◇場所 魚竜館直売所

### 第31回 田束山つつじまつり

南三陸町最高峰の田束山(標高512m)では、5万本ものつつじが朱色に染まり、山頂からはリアス式の海岸美が一望できます。31回目を数えるこのまつりは、咲き誇るつつじのほかにも郷土芸能や野点などが楽しめるおまつりです。毎年多くのお客様で賑わいます。また、登山道「行者の道」は初心者でも気軽に山登りが楽しめるマイナスイオンたっぷりの山道です。



新緑とつつじに包まれながら散策を楽しんでみてはいかがでしょうか。

- ◇開催日 5月17日(日)
- ◇時間 午前10時～午後3時
- ◇場所 田束山山頂一帯

## 庄内の風 ③2

友好町の山形県庄内町を紹介する情報コーナー

### 花のまち庄内町 きれいにアレンジメント

いよいよ本格的なガーデニングの季節が到来しました。

庄内町では、花と緑を通して、町民が積極的にまちづくりに参画し、生き活きとした美しく心地よい地域を創出することを目的として「花の



まちづくり事業」を開催しています。

今年は5月22日(金)に、各集落や町内各施設・団体等約170団体に4万8千本余りの花の苗を配布し、週末には町内全体が花いっぱいになります。年々、参加団体や花の苗の数は増えており、町内外のみなさんに花のまち庄内町をPRする一大事業として定着しています。



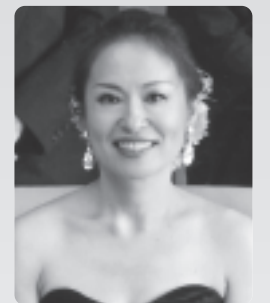
### 夢大使 リレー通信 ③4

各地で活躍する南三陸町夢大使の皆さんの声をお届けする「夢大使リレー通信」を連載しています。今回は、オペラ歌手として活躍している小島りち子さんです。

### 歌の翼にのって

夢大使

小島りち子さん (東京都)



歌という職業に携わって早10年。いろいろな仕事にめぐりあいました。コンサート、オペラ、ミュージカル、そしてパーティーやイベント等々…。過日は、長年歌い続けてきたご褒美でもあるかのように、我が母校である志津川小学校で歌わせていただくというとても光栄な機会にも恵まれました。

そんな数ある歌の仕事の中に、文化庁が行っている素晴らしい事業があります。文化庁では、地域文化を振興するための様々な施策が実施されていますが、その中の一つ、「本物の舞台芸術体験事業」というのがこれです。

この事業は「優れた舞台芸術を鑑賞し、芸術文化団体等による実演指導、ワークショップやこれらの団体等との共演に参加し、本物の舞台芸術に身近に触れる機会を、児童・生徒に提供することで、芸術を愛する心を育て、豊かな情操を養う」というものです。長年お世話になっているオペラ団体がこの事業に選ばれ、私もここ四年ほど各地で歌ってまいりました。演目はビゼーのオペラ「カルメン」(私、カルメン役です)。この事業は、原則学校側の体育館での公演です。その体育館が、舞台セット、衣装、メイク、そして照明で、あっという間に劇場に早変わり!ちゃんとした劇場にもひけはとりません。ただ、殆どの方がご存知のように、体育館は劇場のように空調設備が整っていません。地球温暖化が進んだためか、九月の体育館は酷暑の日が続くこともあります。本番が始まる頃には、もうすでに汗びっしょり。カルメンは、季節が冬の設定なので、衣装はこれでもかと言う位に重厚なものです。また、寒い季節の広い広い体育館は、ものすごい音を立てて活躍する暖房器具が登場します。ありがたいことではありますが、オペラはマイクを使わないので、鍛えた喉でもストープの音にしばしば負けてしまいます。冬公演は、その重厚な衣装が涙が出るほどありがたいのですが、それでも底冷えする体育館では、ホッカイロを体中に貼らなければならないほどです。歌の世界は、一見

華やかに見えますが、実は体力勝負の世界でもあるのです。

さて、この「本物の舞台芸術体験事業」は公演を終えるごとに、生徒代表のお礼の言葉をいただくのですが、「オペラは初めてです。」「生の声の迫力に驚きました。」「私たちの学校へようこそ、ありがとうございます。」「等々の率直な言葉に、私たちが嬉しく、一期一会のステージに感謝の気持ちでいっぱいになります。ある時、四週間続いた公演の最終日に、離島の中学校での公演を終え、いつものように生徒代表のお礼の言葉がありました。「こんなにも遠い島まで来てくださってありがとうございます。心に残る思い出深い初めてのオペラとなりました。音楽の楽しさを教えてくださった皆さんに感謝いたします…。」その言葉を聞いているうちに、いつになく心の琴線がかき乱され、涙ははらはらと…。止まらない!やばい!次は私がお礼の言葉を返さなければならないのに。いつしか舞台上では全員が涙を流していました。この長丁場を体調管理には万全を期していても、少々疲れも出てきて、連日の猛暑、「暑い」とか「つかれた」とかグチが口からこぼれだす頃でした。そんな時、この公演を楽しみに待ち焦がれていた、純粋で真っ直ぐな生徒さんからのその言葉は、みんなの心になんとも言いようのない優しさや強さを持って響いたのだと思います。これまで続けてきたことが報われたと心の奥底から感じられた瞬間。私はこの時ほど歌の仕事を選んだこと、続けてこられたことに感謝せずにはいられませんでした。

過日の母校のふるさとコンサート。後日子供たちの感想文が届きました。自分の言葉で、丁寧に一生懸命に書いてくれました。「優しい気持ちになりました。」「わたしの夢は…僕の夢は…」一緒に歌えて楽しかった」等々。じわっとくる素敵な言葉がたくさん散りばめられていました。この場を借りて、改めてお礼申し上げます。ありがとうございました!